

第43回 市政e-モニターアンケート 「市役所本庁舎等整備の取組について」 集計速報

※ この集計速報は、8月20日までに到着した回答を基にした中間報告です。
※ 集計速報のため、自由記載及びその他の内容は、最終結果にまとめたかたちで掲載します。

【テーマ】市役所本庁舎等整備の取組について

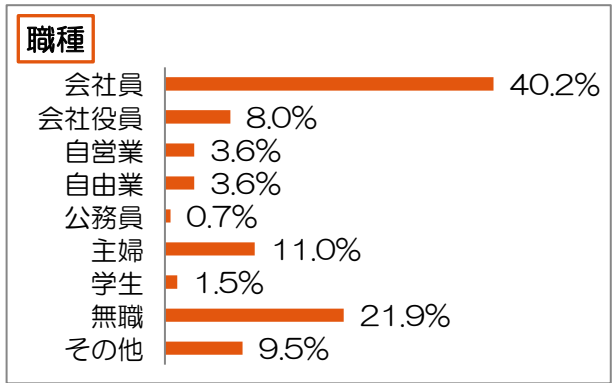
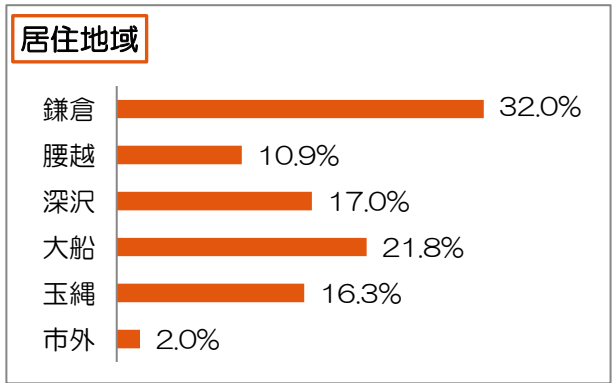
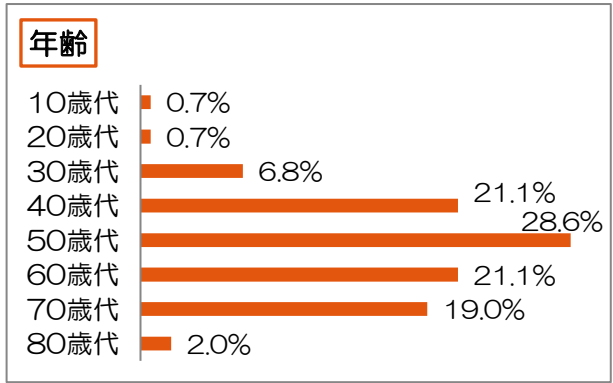
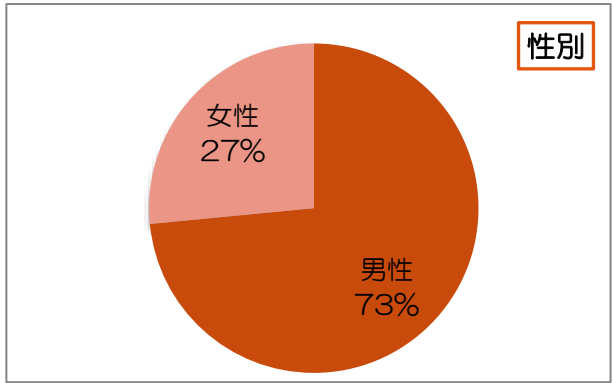
【目的】 現在、鎌倉市では「持続可能な都市『鎌倉』」を目指したまちづくりを進める中で、市役所本庁舎について、災害時には前線基地となる市役所自体の防災力の向上や、将来の社会変化に柔軟に対応できる仕組みを備えたスマートでコンパクトな市役所などを目指し、移転先を深沢地域整備事業用地（行政施設用地）として整備に取り組んでいるところです。

これに伴い、現在地（現在の市役所本庁舎のある場所）については、市役所本庁舎であるよりも、もっと市民の皆さまにとって快適で身近になる場所、また、人と情報がつながる魅力的な場所として再整備していきたいと考えています。窓口機能はしっかりと残しつつ、中央図書館や生涯学習センター等の公共施設については、再編や民間機能の導入によりコストを抑えながら、賑わいや憩いを創出していきます。

鎌倉市は「持続可能な都市『鎌倉』」を、市民の皆さまとともに作りたいと考えています。市役所本庁舎の整備について、今後の参考とするため、皆さまのご意見をお聞かせください。よろしくお願いいたします。

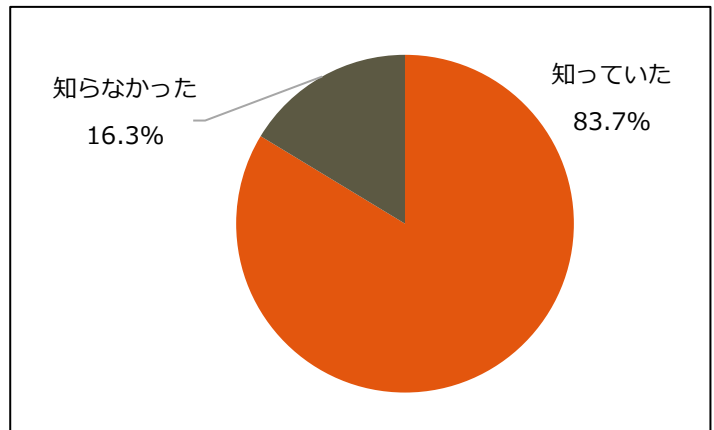
- ◆ アンケート送信日 : 平成30年8月6日（月曜日）
- ◆ 実施期間 : 平成30年8月6日（月曜日）～8月20日（月曜日）
- ◆ 送信者数 : 447 名（着信者数 427 名）
- ◆ 回答者数 : 147 名
- ◆ 回答率(対着信者数) : 34.4%（前回より +1.9ポイント）

【今回の回答者の基本属性】



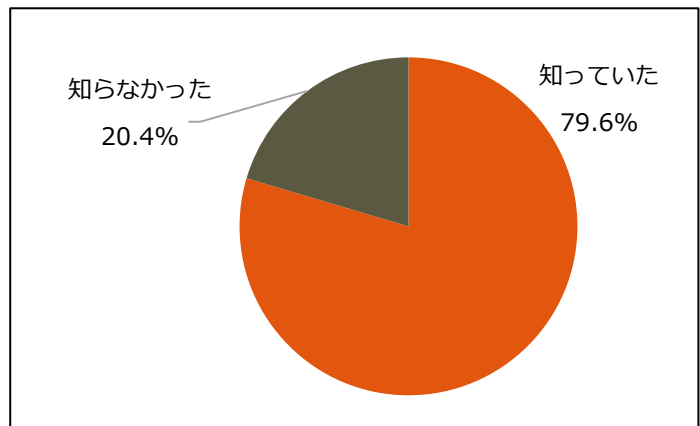
【質問1】 (必須) 市役所本庁舎の整備について、移転して整備することを決定しました。このことについて、ご存知でしょうか。(平成29年(2017年)3月)に「鎌倉市本庁舎整備方針」を策定し決定しています。)

1. 知っていた	123 名
2. 知らなかった	24 名
合計	147 名



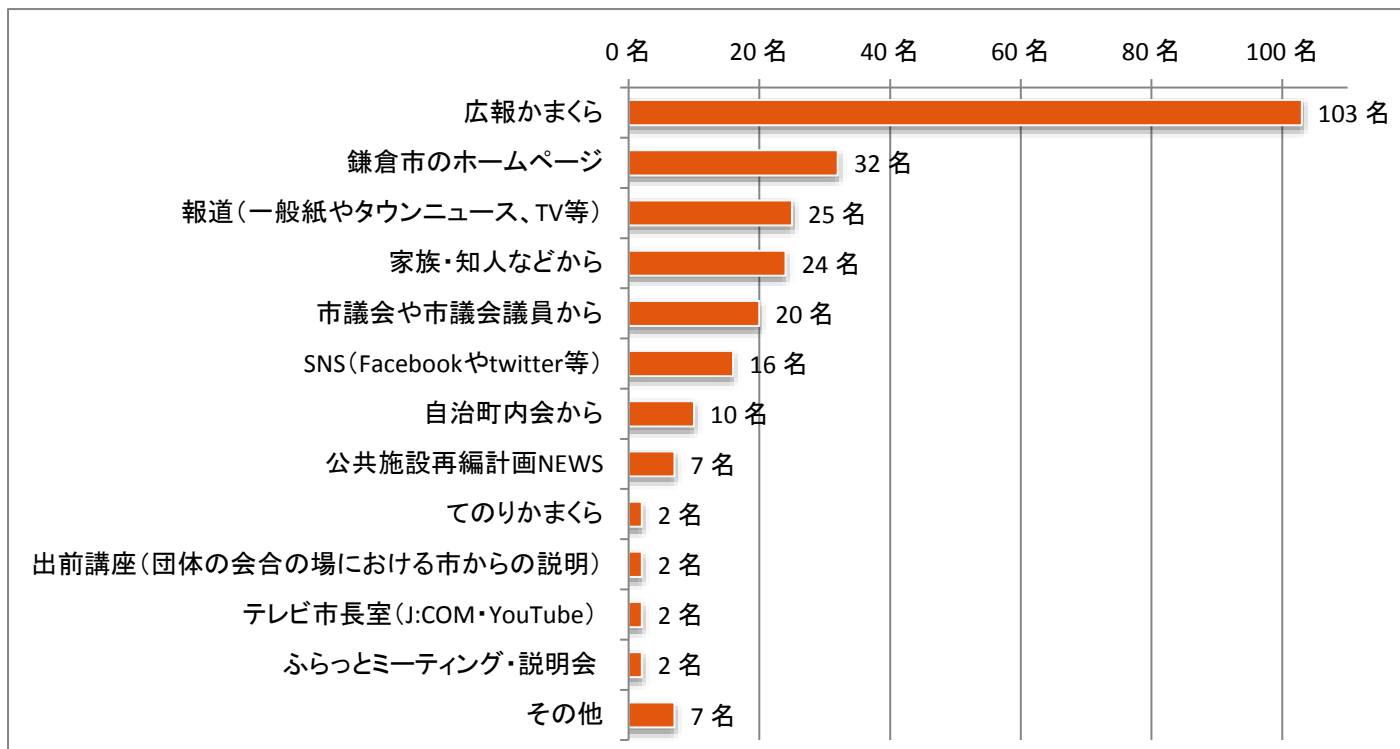
【質問2】 (必須) 市役所本庁舎の整備について、移転先を深沢地域整備事業用地(行政施設用地)とすることに決定しました。このことについて、ご存知でしょうか。(平成30年(2018年)3月に「鎌倉市公的不動産利活用推進方針」を策定し決定しています。)

1. 知っていた	117 名
2. 知らなかった	30 名
合計	147 名



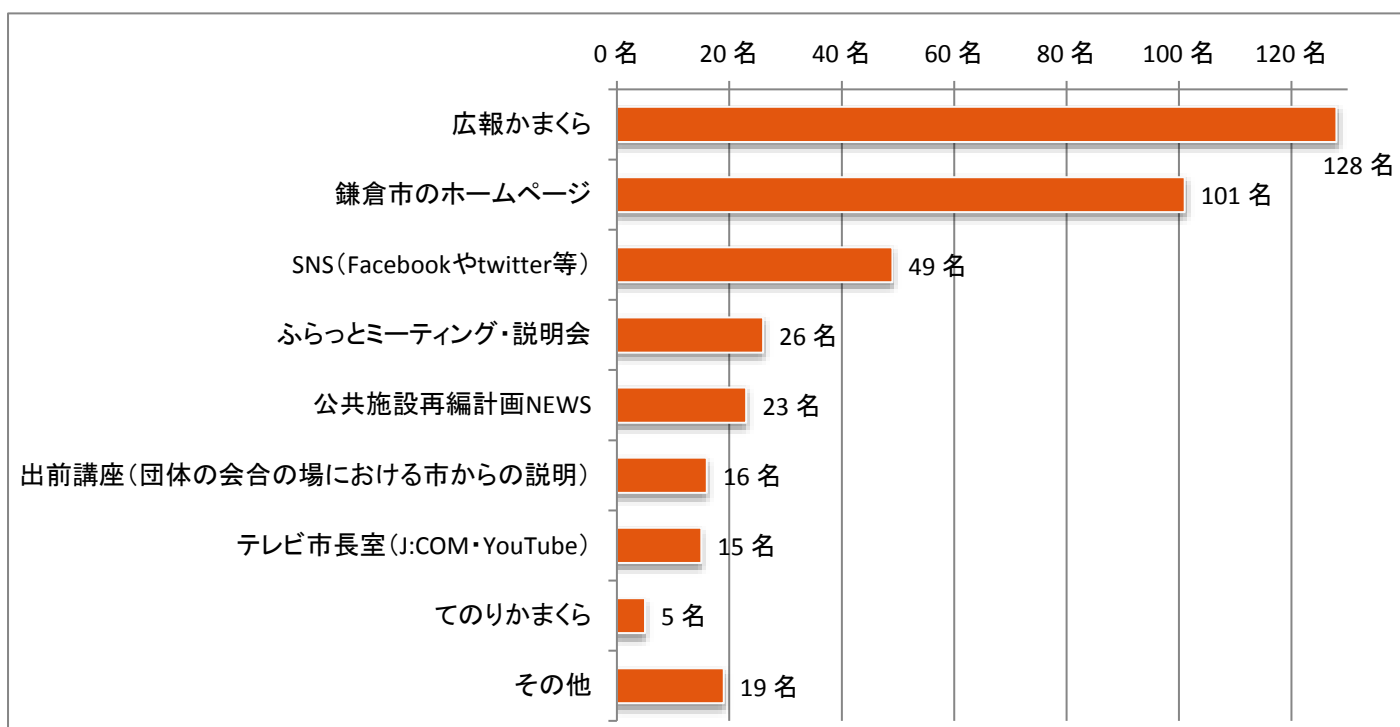
【質問3】 質問1、質問2で「1 知っていた」とお答えいただいた方に伺います。市役所本庁舎の整備の検討や取組状況について、どのような機会・刊行物等でお知りになりましたか。(お知りになった機会・刊行物等の選択肢を3つ)

1. 広報かまくら	103 名
2. てのりかまくら	2 名
3. 鎌倉市のホームページ	32 名
4. 公共施設再編計画 NEWS	7 名
5. SNS (Facebook や twitter 等)	16 名
6. 出前講座 (団体の会合の場における市からの説明)	2 名
7. テレビ市長室 (J:COM・YouTube)	2 名
8. ふらっとミーティング・説明会	2 名
9. 報道 (一般紙やタウンニュース、TV 等)	25 名
10. 家族・知人などから	24 名
11. 自治町内会から	10 名
12. 市議会や市議会議員から	20 名
13. その他	7 名



【質問 4】(必須) 今後、市役所本庁舎の整備の検討や取組状況を周知するために、鎌倉市が積極的に利用すべきであると考えられる効果的な機会・刊行物等についてお聞かせください。(活用すべきとお考えの選択肢を3つ)

1. 広報かまくら	128名
2. てのりかまくら	5名
3. 鎌倉市のホームページ	101名
4. 公共施設再編計画NEWS	23名
5. SNS (Facebookやtwitter等)	49名
6. 出前講座 (団体の会合の場における市からの説明)	16名
7. テレビ市長室 (J:COM・YouTube)	15名
8. ふらっとミーティング・説明会	26名
9. その他 (自由記述)	19名



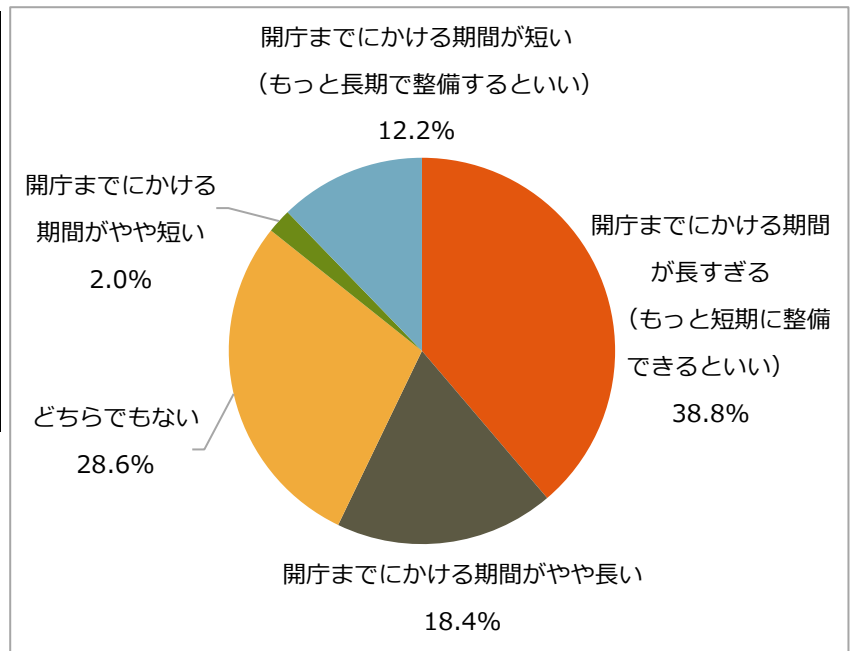
【質問5】（必須）市役所本庁舎の整備の方策などについて、災害発生が懸念される中、スピード感を意識しながらも時間をかけて検討を進め、一昨年度までに整備方針を検討（2年かけて移転を決定）し、昨年度は移転先を検討（更に1年かけて移転先を深沢地域整備事業用地に決定）してきましたが、新たな本庁舎の開庁までに今年度からおよそ7年間（基本構想※策定に約1年、基本計画※策定に約1年、工事のための設計に約2年、工事に約3年）かけるスケジュール（期間）のイメージについてはいかがでしょうか。

【用語解説】

※**基本構想**：新たな本庁舎に関する基本的な考え方を整理したもの（基本理念、基本的機能など）

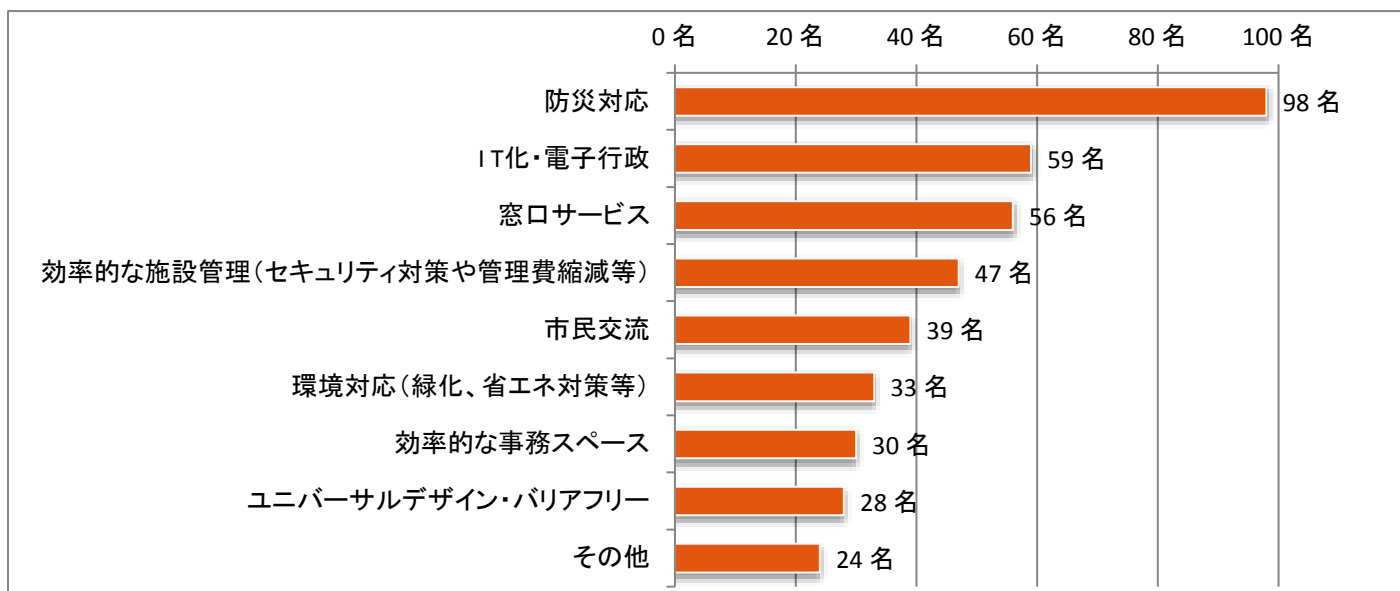
※**基本計画**：基本構想に基づき、より具体的で設計の前提となる情報を整理したもの（規模、機能、概算事業費、建設のスケジュールなど）

1. 開庁までにかかる期間が長すぎる （もっと短期に整備できるといい）	57 名
2. 開庁までにかかる期間がやや長い	27 名
3. どちらでもない	42 名
4. 開庁までにかかる期間がやや短い	3 名
5. 開庁までにかかる期間が短い （もっと長期で整備するといい）	18 名
合計	147 名



【質問6】（必須）「持続可能な都市『鎌倉』」を皆さまとともに作りたいと考えています。今年度は市役所本庁舎の基本構想※の検討を行っていますが、重視すべきとお考えの分野はありますか。（重視すべきとお考えの選択肢を3つ）

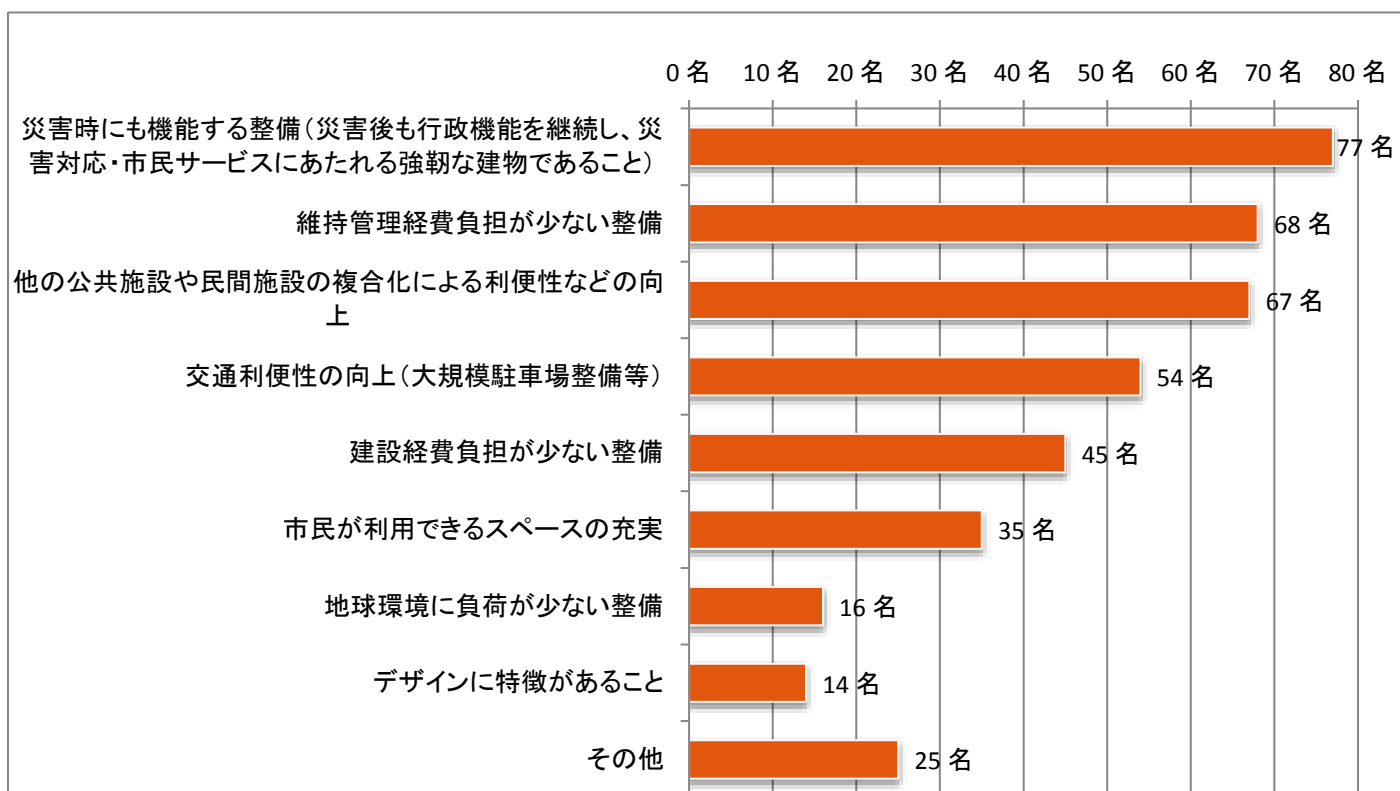
1. 市民交流	39 名
2. ユニバーサルデザイン・バリアフリー	28 名
3. 防災対応	98 名
4. 環境対応（緑化、省エネ対策等）	33 名
5. 窓口サービス	56 名
6. 効率的な事務スペース	30 名
7. IT化・電子行政	59 名
8. 効率的な施設管理（セキュリティ対策や管理費縮減等）	47 名
9. その他	24 名



【質問 7】(必須) 移転先である深沢地域整備事業用地(行政施設用地)での市役所本庁舎の整備等や、現在地(現在の市役所本庁舎のある場所)の活用について、期待することは何ですか。(選択肢を各々3つまで)

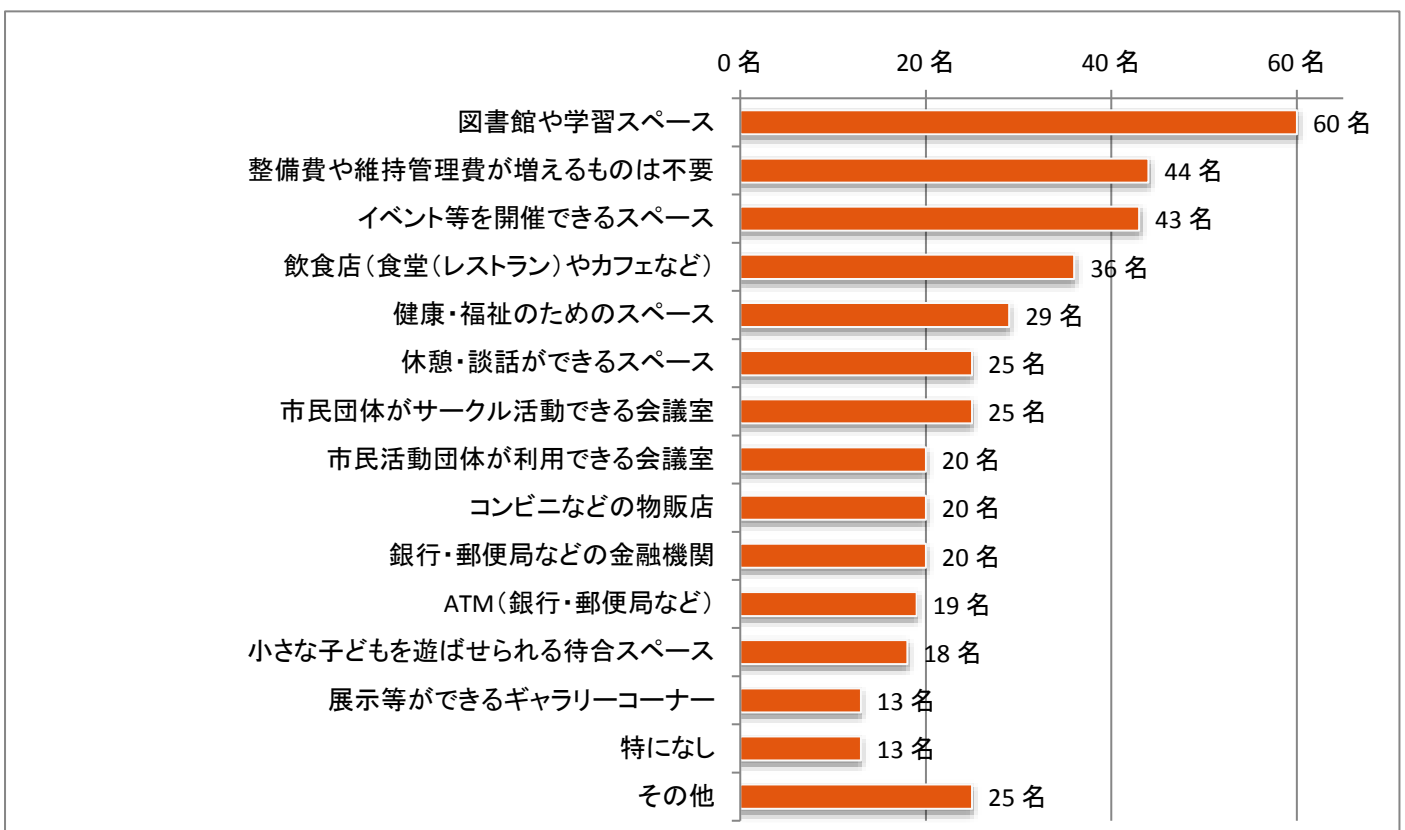
【質問 7-1】 移転先：施設整備として期待すること

1. 市民が利用できるスペースの充実	35名
2. 災害時にも機能する整備 (災害後も行政機能を継続し、災害対応・市民サービスにあたる強靱な建物であること)	77名
3. 建設経費負担が少ない整備	45名
4. 維持管理経費負担が少ない整備	68名
5. 地球環境に負荷が少ない整備	16名
6. デザインに特徴があること	14名
7. 他の公共施設や民間施設の複合化による利便性などの向上	67名
8. 交通利便性の向上(大規模駐車場整備等)	54名
9. その他	25名



【質問 7-2】 移転先：具体的な併設機能で期待するもの

1. 休憩・談話ができるスペース	25 名
2. 展示等ができるギャラリーコーナー	13 名
3. イベント等を開催できるスペース	43 名
4. 市民団体がサークル活動できる会議室	25 名
5. 市民活動団体が利用できる会議室	20 名
6. 小さな子どもを遊ばせられる待合スペース	18 名
7. 図書館や学習スペース	60 名
8. 健康・福祉のためのスペース	29 名
9. コンビニなどの物販店	20 名
10. 銀行・郵便局などの金融機関	20 名
11. ATM（銀行・郵便局など）	19 名
12. 飲食店（食堂（レストラン）やカフェなど）	36 名
13. 特になし	13 名
14. 整備費や維持管理費が増えるものは不要	44 名
15. その他	25 名



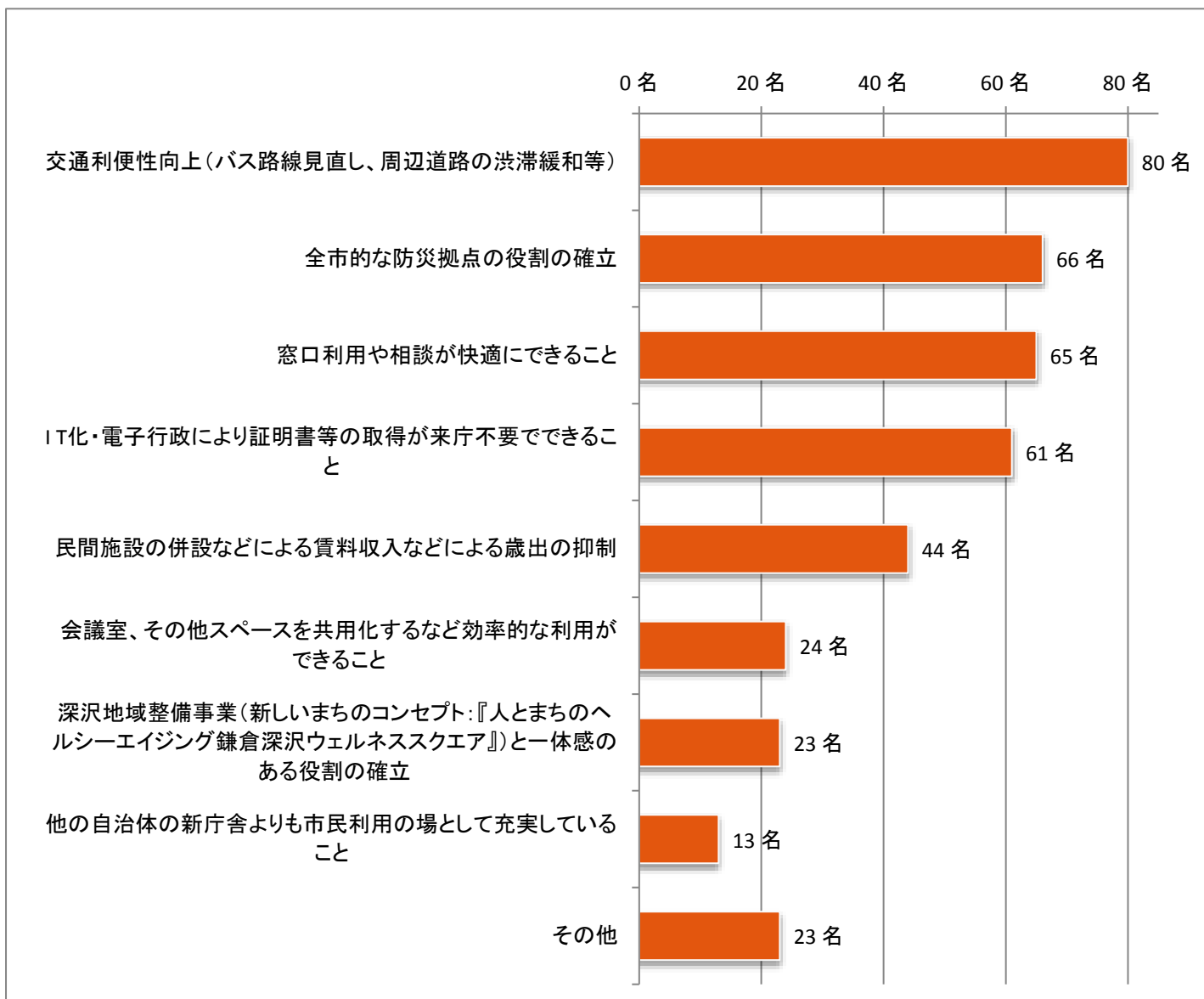
【質問 7-3】 移転先：施設整備以外で期待すること

【用語解説】

※**ヘルシーエイジング**：人は年齢を重ねることをマイナスと捉えるのではなく、その時代、時代に健康的でいきいきとしたライフスタイルを築くことでプラスにし、まちなちも経年劣化するのではなく、時の経過と共に文化や深みや味わいが育つこと

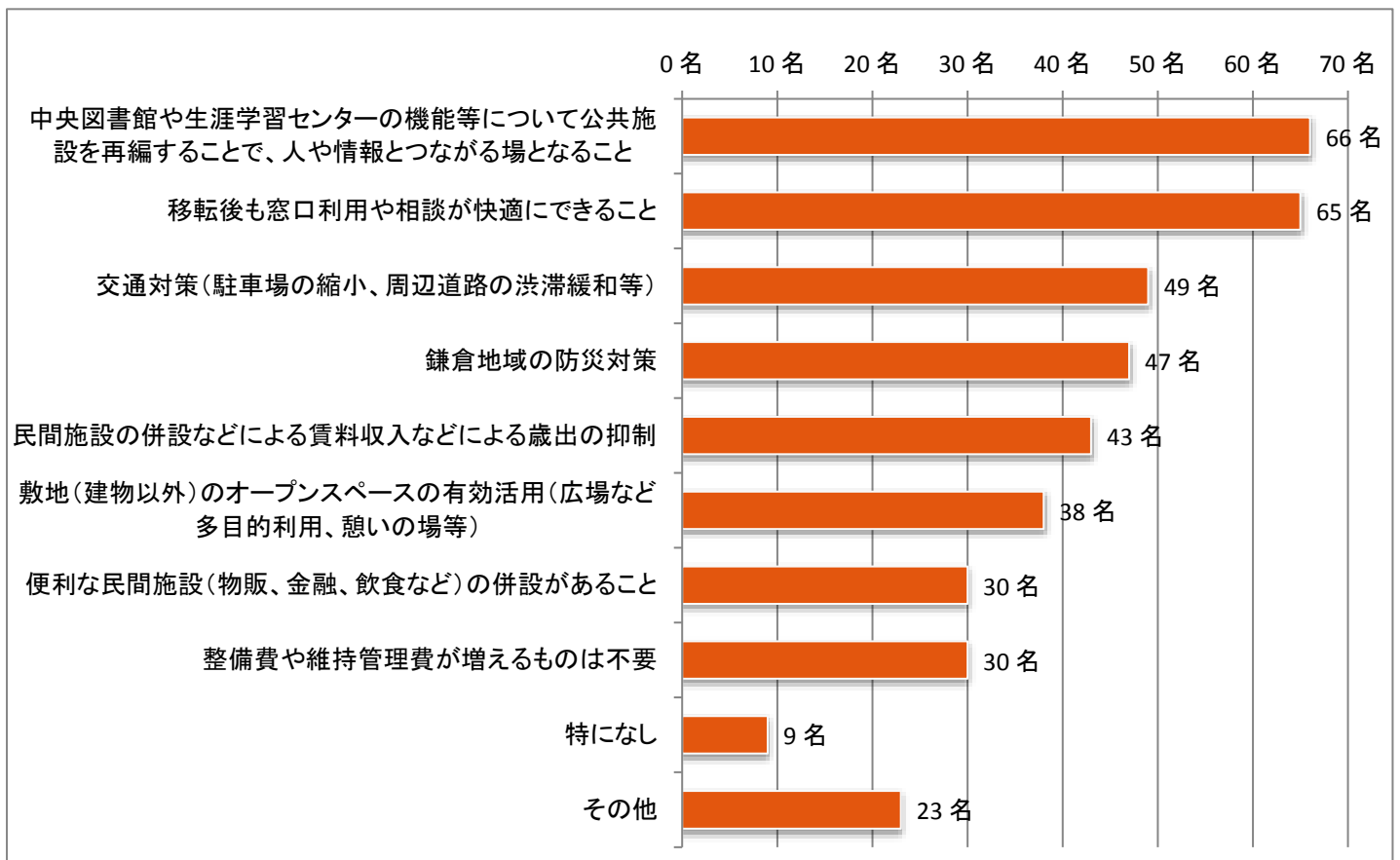
※**ウェルネス**：健康な心身を維持・発展させる生活行動

1. 窓口利用や相談が快適にできること	65 名
2. 全市的な防災拠点の役割の確立	66 名
3. IT化・電子行政により証明書等の取得が来庁不要でできること	61 名
4. 会議室、その他スペースを共有化するなど効率的な利用ができること	24 名
5. 他の自治体の新庁舎よりも市民利用の場として充実していること	13 名
6. 深沢地域整備事業（新しいまちのコンセプト：『人とまちのヘルシーエイジング鎌倉深沢ウェルネススクエア』）と一体感のある役割の確立	23 名
7. 交通利便性向上（バス路線見直し、周辺道路の渋滞緩和等）	80 名
8. 民間施設の併設などによる賃料収入などによる歳出の抑制	44 名
9. その他	23 名



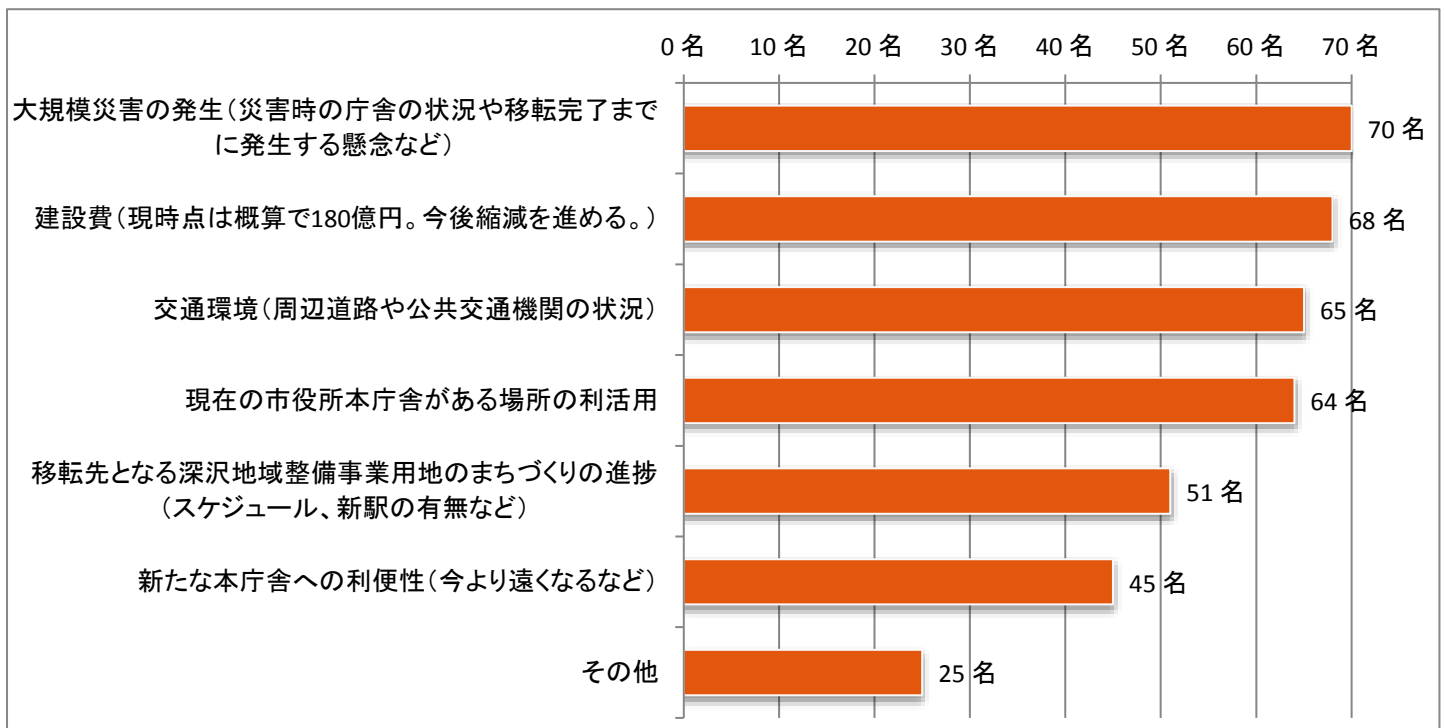
【質問 7-4】 現在地（現在の市役所本庁舎のある場所）で期待すること

1. 移転後も窓口利用や相談が快適にできること	65 名
2. 鎌倉地域の防災対策	47 名
3. 中央図書館や生涯学習センターの機能等について公共施設を再編することで、人や情報とつながる場となること	66 名
4. 敷地（建物以外）のオープンスペースの有効活用（広場など多目的利用、憩いの場等）	38 名
5. 交通対策（駐車場の縮小、周辺道路の渋滞緩和等）	49 名
6. 便利な民間施設（物販、金融、飲食など）の併設があること	30 名
7. 民間施設の併設などによる賃料収入などによる歳出の抑制	43 名
8. 特になし	9 名
9. 整備費や維持管理費が増えるものは不要	30 名
10. その他	23 名



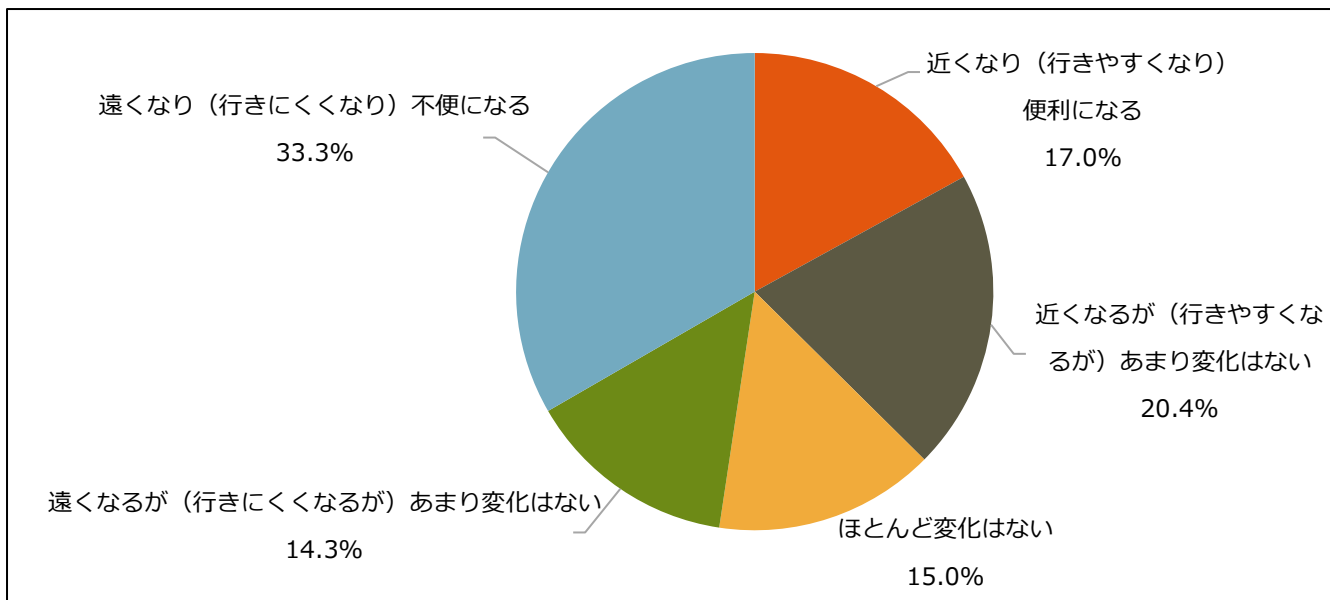
【質問 8】 (必須) 市役所本庁舎の移転整備により、将来の社会変化に柔軟に対応できる仕組みを備えたスマートでコンパクトな市役所、災害時には市民の生命を守る前線基地となる市役所などを目指しています。本庁舎の移転整備について、皆さまが関心をお持ちの点を教えてください。(選択肢を3つ)

1. 大規模災害の発生 (災害時の庁舎の状況や移転完了までに発生する懸念など)	70 名
2. 建設費 (現時点は概算で 180 億円。今後縮減を進める。)	68 名
3. 移転先となる深沢地域整備事業用地のまちづくりの進捗 (スケジュール、新駅の有無など)	51 名
4. 新たな本庁舎への利便性 (今より遠くなるなど)	45 名
5. 交通環境 (周辺道路や公共交通機関の状況)	65 名
6. 現在の市役所本庁舎がある場所の利活用	64 名
7. その他	25 名



【質問 9】 (必須) 市役所本庁舎が深沢地域整備事業用地 (行政施設用地) に移転することによって利便性はどのように変化しますか。

1. 近くなり (行きやすくなり) 便利になる・・・ (よく利用するので助かる)	25 名
2. 近くなるが (行きやすくなるが) あまり変化はない・・・ (あまり利用しないので、利便性は大きく変化しない)	30 名
3. ほとんど変化はない・・・ (利用するがほとんど変化はない、ほとんど利用しない)	22 名
4. 遠くなるが (行きにくくなるが) あまり変化はない・・・ (あまり利用しないので、利便性は大きく変化しない)	21 名
5. 遠くなり (行きにくくなり) 不便になる・・・ (よく利用するので困る)	49 名



【質問10】 (必須) その他、ご意見がございましたらご自由にご記入ください。

※【質問10】の回答については、最終結果にまとめて掲載します。

鎌倉市 共創計画部 広報広聴課 広報広聴担当
 〒248-8686 鎌倉市御成町 18 番 10 号
 TEL 0467 (23) 3000 内線 2506
 FAX 0467 (23) 6505
 e-mail : emoni2505@city.kamakura.kanagawa.jp